

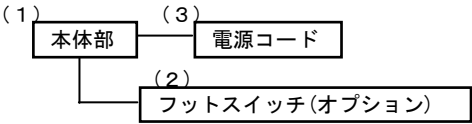
卓上型遠心塗抹装置 「とまつくん」

【形状・構造及び原理等】

1. 構成品

本製品は次の各部分から構成される。

番号	製 品 名
(1)	本体
(2)	フットスイッチ(オプション)
(3)	電源コード



2. 電氣的定格

電源電圧：AC100V±10%， 50/60Hz
 消費電力：300VA
 電撃に対する保護の形式：クラスⅠ電源機器

3. 寸法、重量

（単位許容範囲：標準値±10%）

- (1) 本体 寸法：表示部 201 (W) ×251 (H) ×403 (D) mm
重量：12kg
- (2) フットスイッチ（オプション）
ケーブル長：2.0m
- (3) 電源コード
ケーブル長：3.0m

＊＊4. 形状

本体



＊【使用目的又は効果】

本装置は、一般の鏡検検査で使用する血液塗抹標本作製するためにスライドガラスに滴下した血液を遠心塗抹する装置である。

＊＊【使用方法等】

（１）準 備

- (a)電源スイッチがOFF になっている事を確認してから、付属の電源コードを接続する。
- (b)電源コードを AC 100V のコンセントに差し込む。
- (c)フットスイッチを接続する。開始制御をスタートスイッチにより行なう場合は、フットスイッチを接続する必要はない。

＊（２）使用開始

＊ (a) 電源の投入

トップカバー、ストレージ及びホイール台、液漏れ防止ブロック、内蓋が正しくセットされていること、蓋の上に物が載っていないことを確かめた後、電源スイッチを ON する。

(b)待機状態

電源スイッチを ON にするとスタートスイッチのランプが点灯して蓋が閉じ、ホイール台が定位置まで回転した後、蓋が開いて待機状態となる。またこの時、一旦電源スイッチを OFF し再び ON すると蓋が閉じホイール台が定位置まで回転した後再び蓋が開き待機状態となる。

(c)遠心塗抹動作

スタートスイッチを 1 回押すと、蓋が閉じホイール台が回転時間設定スイッチにて設定された時間回転した後、蓋が開き再び待機状態となる。遠心塗抹するときは必ずフットスイッチまたはスタートスイッチボタン(回転中はランプ点灯)を使用する。

＊（３）塗抹標本の作製

本装置を使用して塗抹標本作製するときは、必ずゴム手袋を着用し、感染防止策をしてから次の手順で実施する。

(a)電源の投入

電源スイッチを ON するとホイール台が定位置まで回転し、蓋が開く。

(b)ホイール台回転時間の設定

回転時間設定スイッチにて希望する回転時間を設定する。（本装置では、1.3 秒を標準推奨値とする）。
 回転時間を長く設定すると血球の塗抹状態は疎に、短く設定すると密になる。また、塗抹状態と回転時間の関係は使用する血液の状態により影響を受けることがある。

＊ (c) スライドガラスを載せる

スライドガラスを取扱の際はピンセットを必ず使用する。
 スライドガラスはホイール台のガイドピンの内側におさまるよう、正しく載せる。スライドガラスにフロスト加工のあるものは、フロスト加工面が上になるようにする。スライドガラスをホイール台の上にのせるときには、ゴミ、硝子の破片などがいないか確認し、スライドガラスがホイール台の面より浮き上がらないよう注意する。

＊ (d) 血液を滴下する

スライドガラスの上に血液を規定量(250μℓ)滴下する。スポイトを使用して採血管より 250μℓの全血を吸引し、スライドガラス表面の中心部分にあわ立たないよう静かに滴下する。気泡が生じたときはスポイトで吸い取る。また、血液を滴下する際、血液が少なすぎたり多すぎたりした時も塗抹ムラになることがあるので、必ず 250μℓを使う。

＊ (e) 遠心塗抹開始

スタートスイッチまたはフットスイッチを ON にし、遠心塗抹を開始する。スタートスイッチまたはフットスイッチを 1 回 ON にすると、蓋が閉じ、ホイール台が回転する。ホイール台は回転時間設定スイッチで設定された時間だけ回転し定位置で停止した後、蓋が再び開く。回転中はスタートスイッチが点灯する。
 ホイール台の回転中は絶対に蓋に触れないこと。蓋はホイール台が回転中でも手で持ち上げれば開くので注意する。万が一持ち上げてしまった場合でも動作が停止するようになっており、点滅しているスタートスイッチを再度押すと蓋が開き待機状態となる。

取扱説明書を必ずご参照ください

蓋が閉まる動作中にもう一度スタートスイッチを押すと動作が停止する。スタートボタンを押したままの状態では動作は開始されない。ボタンを離れたときに動作が開始する。

* (f) 標本を取り出す

遠心塗抹の終了した標本をホイール台より取り出す。塗抹標本は血液感染予防のため、ピンセットで取出す。

* (g) 標本の乾燥

ストレージより取り出した塗抹標本はすぐ別の容器に移し、10 分以上冷風乾燥させる。また、そのまま標本作製処理を継続する時は、手順(c)～(g)を繰り返し行う。塗抹直後の標本に加熱したり、自然乾燥すると白血球や赤血球の形状に好ましくない影響をおよぼすため避ける。なお 10 分以上冷風乾燥した後、空気による自然乾燥は行ってもよい。

**** (4) 使用方法等に関連する使用上の注意**

**** 1. 機器を使用する前に、次の事項に注意すること。**

機器を使用する前に、機器の概観などに異常がないかチェックする。

**** 2. 機器の使用後は次の事項に注意すること。**

使用後は、時間を空けずに洗浄、拭き取りをすること。

****【保管方法及び有効期間等】**

保管方法： 高温、多湿、直射日光を避け、常温で保管

****耐用期間**：使用開始(据付)後 5 年 [自己認証(自社データ)による]

****【保守・点検に係る事項】**

〈洗浄方法〉

**** (1)使用後の機器の状態**：すべての塗抹標本作製作業が終了したら、電源スイッチを OFF にしてストレージ内部にゴミ、ホコリが入らぬよう、蓋を手で閉めておくこと。

**** (2)使用後の機器の清掃**：標本作製処理が終了した後のホイール

台、トップカバー、液漏れ防止ブロック、内蓋などは血液でよごれているので早めに洗う。後始末をする際は電源を OFF にし行うこと。標本や各部品を取り扱う際は必ずゴム手袋を着用するなど感染予防をして後始末を行うこと。

**** (3)機器部品の洗浄**：トップカバー、ホイール台、液漏れ防止ブロック、内蓋、ストレージの清掃は湯または水に 10 分間浸す。その後、次亜塩素酸ナトリウムを加え、溶液の濃度が 1 パーセントになるようにし、この中に 30 分間浸した後、取り出してよく水で洗い流す。また各部品は樹脂製なので、材質を犯す洗剤および、表面に傷を付ける洗浄器具の使用は避けること。

**** (4)蓋の清掃**：水を含ませたガーゼで拭いた後、エタノール (76.9～81.4vol%含有) のガーゼで汚れを拭き取る。蓋は樹脂製のため、材質を侵す洗剤および、表面に傷を付ける洗浄器具の使用は避けること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

ライオンパワー株式会社

石川県小松市月津町ツ 5 番地

TEL 0761-44-5411

